

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市沖野老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 15,974人（前年度比44.6%） 令和元年度 35,836人（前年度比95.5%） 平成30年度 37,536人（前年度比98.1%）
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 37,454千円 （37,504千円） ・ その他市が負担した費用 286千円 （4,950千円）
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 （0千円） ・ その他収入 0千円 （0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、管理運営委員会において各委員との意見交換を行い、提案内容や要望等を反映し、事業運営を行った。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえで心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28

<b>V 施設固有の基準</b>	<p>高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。</p> <p>また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。</p>	<p>9/9</p>
------------------	---	------------

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会事業協会）による自己評価》
<p>施設の目的や基本方針等館内に掲示し、利用者に周知した。また、毎月の事業所会議や朝のミーティング等で重点目標を全職員間で共有した。</p> <p>管理運営については、指定管理料の執行状況を適宜確認するほか、事務用品等の在庫管理を徹底し、適正な予算管理に努めた。また、節電やリサイクル等、仙台市環境行動計画に則った取り組みを継続したほか、設備の保守点検や清掃、植栽等の維持管理に努めた。</p> <p>リスクマネジメントの取り組みとして、感染症予防対策の徹底のため、衛生用品や消耗品の確保に努め、館内掲示や勉強会等の機会を通じ職員や利用者への啓発を行った。</p> <p>個人情報保護については、管理体制・セキュリティ対策を構築し、研修等の機会などを通して職員への啓発を行った。事故発生時には報告書を作成して職員間で共有し再発防止に取り組んだほか、防災訓練を2回実施した。</p> <p>また、サービスの質の向上に向け、利用者アンケート、管理運営委員会、日常の対応などを通してニーズや課題を把握し、事業運営に反映するよう意識して取り組んだ。</p> <p>外部研修の機会が減少する中、オンライン研修会などの機会を活用し、伝達研修や復命書で職員間で共有しスキルアップに努めた。</p> <p>地域福祉の課題については、町内会や福祉委員会、地域包括支援センターなどの関係機関等と連携して情報共有し、児童やその保護者世代等、世代の垣根を越えて地域福祉に寄与できるよう取り組んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>高齢者の健康増進のため、介護予防体操などの介護予防に関する取り組みを積極的に行っている。また、地域包括支援センターと共同で介護保険教室を開催したほか、市民センターと共同で折り紙ボランティア養成講座を開催するなど、施設間交流・世代間交流に力を入れており、複層的な施設運営に努めている。</p> <p>また、利用者の代表者で構成される管理運営委員会にて各委員と意見交換を行い、提案事項や要望を事業運営に反映させるなど、利用者主体の施設運営に努めるとともに、ボランティア活動の啓発にも意欲的である。</p> <p>そのほか地域の関係機関と連携して情報共有を図るなど、地域福祉の発展に向け積極的に取り組んでおり、総合的に高く評価できる。</p>	<p>S</p>

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>「新型コロナウイルス感染症拡大防止 施設利用ルール」を策定し、感染症対策を徹底していたが、令和3年1月に併設するデイサービスセンターにおいて感染患者が発生し、休館措置を講じた。再開後は感染症対策を再度徹底し、感染拡大防止に留意した施設運営を行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課